

2014年度 日本文化人類学会

第3回理事会 議事録(案)

日時：2014年7月6日(日) 14時～18時

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

<出席者> 関根、赤堀、池田、石田、上杉、太田、岡田、春日、亀井、窪田、栗田、桑山、慶田、田中、
名和、真島、松田、松村、山本

<委任状提出>岸上、湖中、瀬川

<欠席者>和崎

[承認事項]

1. 2014年度第2回理事会議事録
2. 2014年度第2回評議員会議事録を7月7日に評議員会メーリングリストで回覧した結果、期限までに異議が無かったため承認とみなすことを報告。
3. 2014年度総会議事録を議長および議事録確認者2名に発送済みであることを報告。
4. 新入会員(10名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
5. アジア大洋州ラテンアメリカ研究協議会(CELAO)より2014年研究大会(2014年9月16日～18日開催)への後援依頼があり、後援依頼書と告知文案を確認の上、後援することが承認された。

[報告事項]

1. 会長報告
 - ・法人化について法人化検討委員会で順次検討を進めていくことを確認。
 - ・国際情報発信強化特別委員長の桑山理事よりIUAES2014で開催された今後のJRCAの国際化に関するパネルの討議内容をまとめた文書が提出されたことを報告。国際化についてどのように対処するかだけでなく、学会として国際化をどのように考えるかを根本的に検討していく必要があることを確認。
 - ・ヨーロッパ社会人類学会(EASA)のランチミーティングに会長として出席予定であることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・会員名簿について例年通りの仕様で刊行の準備を進めることを確認。
 - ・第4回三島海雲学術賞の学会推薦公募案内(7月18日締め切り)をJASCA-INFO及び学会HPで告知したことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・学会50周年記念国際大会、第48回研究大会の会計処理が現在進行中であることを報告。
 - ・課題研究懇談会及び地区研究懇談会について口座の準備が整ったところから今年度の配分額の振り込みを開始したことを報告。口座情報が未提出の研究懇談会については、7月中に提出するよう依頼した。
4. 総務理事報告
 - ・7月26日開催の本学会主催公開シンポジウム(於名古屋市)について、チラシが完成したことを報告。
 - ・2015年度の本学会主催公開シンポジウムについて、鏡味治也会員(金沢大)を組織者として、北陸地区で開催する予定であることを報告。
 - ・故山口昌男元会長のご遺族より学会50周年記念事業へご寄付をいただいたこと、学会50周年記念事業準備委員会と総務会での検討結果に基づき、全額を将来計画基金へ組み入れる予定であることを報告。なお、会長名で礼状を発送することとした。
5. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき8件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・JASCA-NETにおいてチェーンメール誘発の可能性のある不適切な表現を使用した投稿があったため、投稿者に対し注意喚起を行ったことを報告。

- ・学会 HP に掲載する各地区研究懇談会情報について担当理事に照会を行ったことを報告。情報が未提出の地区については、すみやかに提出するよう依頼した。
6. 各種委員会報告
- ・『文化人類学』編集委員会：79 巻 1 号の刊行と 2 号の進捗状況について報告。
 - ・JRCA 編集委員会：7 月 6 日に委員会を開催し、Vol. 15 の方針を検討したことを報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：IUAES2014 で組まれた今後の JRCA の国際化に関するパネルの討議内容をまとめた文書を作成したことを報告。この文書を理事会メーリングリストで配信することとした。
 - ・法人化検討委員会：今年度夏に委員会を開催予定であることを報告。
 - ・国際連携委員会：WCAA から寄付依頼があったこと、国際連携委員会で検討の上、次回理事会で対応策を提案する予定であることを報告。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：2014 年度に新規採択された課題研究懇談会の事業計画書を確認。課題研究懇談会の英語表記については、過去に使用された表記も含め委員会で確認した上で確定することとした。
 - ・学会 50 周年記念事業準備委員会：学会 50 周年記念国際大会の収支について、6 月に千葉県に提出した収支決算書に基づき報告。第 48 回研究大会の収支報告は次回理事会に提出予定であることを報告。学会 50 周年記念国際大会の収支決算については、理事会に報告書が提出された後、会計理事が領収書等を確認した上で、今年度末の決算で報告を行う予定であることを確認。
 - ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。地区研究懇談会は学会の主催または共催とすること、各地域の会員に資するものとすることを確認。地区研究懇談会経費の使途については、発表者等が会員である場合には謝金の支出対象とはならないことを確認。
 - ・文化人類学教育委員会：若手支援検討のためのワーキンググループによる中間報告が学会誌 78 巻 4 号に掲載されたこと、本日の理事会終了後にワーキンググループの会合を開催することを報告。
7. その他
- ・窪田理事より、学会 50 周年記念事業の一つとして開催された国立新美術館企画展「イメージの力ー国立民族学博物館コレクションにさぐる」に 6 万人を超える入場者があったこと、図録の購買率が非常に高かったことを報告。今後の企画として、国立民族学博物館で同展（9 月 11 日～12 月 9 日）が開催されること、そのための実行委員会が組織されたことを報告。
 - ・第 26 期理事会において新設された各委員会の英語名称について意見交換がなされ、庶務理事と各委員長とで決定することとした。

〔審議事項〕

1. 第 5 回育志賞学会推薦候補者について
 - ・松村理事より、第 5 回育志賞学会推薦候補者の受付を 5 月 20 日に締め切って選考を実施し、選考結果を応募者に通知した上で、推薦書を日本学術振興会に提出したことが報告され、承認された。
2. JRCA への投稿呼びかけについて
 - ・桑山理事より、IUAES2014 のパネルをもとにした論文の JRCA への投稿呼びかけに関し、JASCA-INFO 配信文案及び投稿権について提案があり、審議の結果、今回の IUAES2014 のパネルをもとにした論文の投稿については特集に準ずるものとみなし、和文誌の規定に基づき、全体の 3 分の 1 以下であれば非会員の投稿も受け付けることが承認された。JASCA-INFO 配信文については文言調整を総務会に一任することとした。また、各パネルの組織者には直接投稿の呼びかけを行うこととした。
3. 次世代育成セミナーについて
 - ・春日理事より、2014 年度次世代育成セミナーを、西日本は 11 月 8 日、東日本は 11 月中旬頃に開催する予定であることが報告された。
 - ・引き続き 2014 年度の発表者募集要項（案）について説明があり、承認された。文言調整を総務会に一任することとした。
 - ・次世代育成セミナー実施運営委員を公募してはどうかとの意見が現在の委員から出されたことが報告され、次世代育成セミナーのあり方について今後検討を行っていくこととした。
4. 神奈川大学日本常民文化研究所運営委員への推薦依頼
 - ・真島理事より、神奈川大学日本常民文化研究所より運営委員会委員の推薦依頼があったことが報告され、渡邊欣雄氏（國學院大）を推薦することが承認された。

5. 朝日賞学会推薦候補者について

- ・松村理事より、2014 年度朝日賞の候補者推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、2014 年度朝日賞の候補者推薦を実施することが承認された。候補者については総務会原案が承認された。

6. その他

- ・真島理事より、会員から筑波大学の重点公開講座「じんるいがくカフェ」への後援依頼があったことが報告され、審議の結果、学会が後援を行う場合、学会と同格の外部機関や連携機関からの依頼のみを受け付けるという原則から外れるため、学会としての後援は行わないこととした。
- ・赤堀理事より、学会からの謝金支払いに関する以下の点について確認がなされた。
 - ①原則として会員（学生アルバイトを除く）は謝金支出の対象とならないが、他に代え難い専門業務については、会員への謝金支出を認める。
 - ②JRCA の英文校閲、英文翻訳の謝金額については、会計理事と JRCA 編集主任とで決定する。
 - ③今後法人化にあたり、謝金の単価表について検討の必要がある。
- ・山本理事より、第 24 期理事会からの課題となっているシニア会員（永年会員）制度と学会費の減免措置について説明があり、今後理事会で検討を行うこととした。
- ・池田理事より、学会誌への DOI 付与について検討が必要であることが提案され、学会誌の配信については国立情報学研究所の電子図書館事業から新たな配信手段への移行が求められていることを勘案しながら検討を行っていく必要があることを確認した。
- ・第 4 回理事会は 10 月 12 日（日）、第 5 回理事会は 12 月 13 日（土）。

以上